

作成日 1997年 2月 13日  
改定日 2022年 1月 5日

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名	JC ハービック粒剤
会社名	日本カーリット株式会社
住所	〒377-0004 群馬県渋川市半田 2470 番地
発行部門	安全品証部
電話番号	0279-23-8812
FAX 番号	0279-23-8642
緊急連絡先	同上
整理番号	A-1610
推奨用途	農薬（除草剤）
使用上の制限	上記以外の用途での使用不可

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 物理化学的危険性

##### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

##### 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)

上記に記載がない危険有害性項目は「区分に該当しない」または「分類できない」。

#### GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

**危険**

危険有害性情報

H319 強い眼刺激  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
H350 発がん性のおそれ  
H370 吸入した場合、呼吸器の障害  
H372 長期にわたる、または反復暴露により呼吸器の障害  
H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]

P264 取り扱い後は手をよく洗うこと。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
P201 使用前に取扱い説明書を入手すること。  
P202 すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。  
P260 粉じん/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
P273 環境への放出を避けること。

[応急措置]

◆ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

- ◆ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
- ◆ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。
- ◆ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
- ◆ ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診察／手当てを受けること。
- ◆ 漏出物を回収すること。

[保管]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成および成分情報

単一化学品・混合物の区別 化学名または一般名	混合物 1-(5-tert-ブチル-1,3,4-シア ジアゾール-2-イル)-1,3-ジメ チル尿素	ベントナイト	炭酸カルシウム、 他
慣用名または別名 成分、濃度または濃度範囲	テブチウロン 5.0%	含水珪酸アルミニウム 40.0%(結晶質シリカ として 12%含有)	— 55.0%
官報公示整理番号	(化)5-5242 (安)公表	(化)対象外	(化) 1-122 (安)公表
CAS No.	34014-18-1	1302-78-9	471-34-1

### 4. 応急措置

飲み込んだ場合	口をすすぐ。気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗う。気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、二酸化炭素、消火粉末、強化液
使ってはならない消火剤	—
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性または毒性のガスおよびヒュームが発生するおそれがある。
特有の消火方法	本剤は燃えないが、火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。 関係者以外は安全な場所に退去させ、立ち入りを禁止する。 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用

<p>消火活動を行う者の特別な 保護具および予防措置</p>	<p>いる。 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。</p>
------------------------------------	---

## 6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、 保護具および緊急時措置</p>	<p>漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 漏洩物の上をむやみに歩かない。 必要に応じた換気を確保する。 作業者は防じんマスクなど適切な保護具を着用し、吸入、眼や皮膚への接触、誤飲を避ける。</p>
<p>環境に対する注意事項</p>	<p>除草剤として植物を無選択に枯らすので、漏洩物を直接河川や下水に流してはならない。</p>
<p>封じ込めおよび浄化の方法 および機材</p>	<p>飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収し、専門の廃棄物業者に委託処理する。</p>

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

<p>取扱い 技術的対策</p>	<p>飛散を防止し、みだりに粉じんを発生させない。 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。 屋内での取扱いは、局所排気内、または全体換気のある場所で行なう。</p>
<p>安全取扱い注意事項</p>	<p>散布する時は、農薬用マスク・手袋・長ズボン・長袖の作業着等を着用する。</p>
<p>接触回避 衛生対策</p>	<p>粉末を吸い込んだり浴びたりしないようにする。 作業後は手足・顔などを石鹸でよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。</p>
<p>保管 安全な保管条件 安全な容器包装材料</p>	<p>直射日光を避け、低温で乾燥した場所に密封し、施錠して保管する。 ポリエチレン</p>

## 8. ばく露防止および保護措置

<p>許容濃度等 管理濃度 日本産業衛生学会(2021) ACGIH(2006)</p>	<p>3.0 / (1.19Q + 1) Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率(%) 結晶質シリカとして 0.03mg/m<sup>3</sup> 結晶質シリカとして TLV-TWA 0.025mg/m<sup>3</sup></p>
<p>設備対策</p>	<p>—</p>
<p>保護具 呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚および身体の保護具</p>	<p>防じんマスク 不浸透性保護手袋 ゴーグル型保護眼鏡 長袖長ズボンの作業衣、長靴、前掛け等</p>

## 9. 物理的および化学的性質

<p>物理状態 色 臭い</p>	<p>細粒 類白色 無臭</p>
--------------------------	--------------------------

pH	10 (20wt%水溶液)
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点および沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界 ／可燃限界	データなし
蒸気圧	データなし
密度または相対密度	見掛比重:1.0
相対ガス密度	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
粘度(動粘性率)	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

## 10. 安定性および反応性

反応性／化学的安定性	通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	—
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	知見なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口:(ラット)LD <sub>50</sub> >5000mg/kg (区分に該当しない) 経皮:(ウサギ)LD <sub>50</sub> >2000mg/kg (区分に該当しない) 吸入: データなし (分類できない) テブチウロン原体のデータ 経口(ラット)LD <sub>50</sub> ♂ 2800mg/kg、♀ 1720mg/kg <sup>1)</sup> 経皮(ラット)LD <sub>50</sub> ♂ ♀ >5000mg/kg <sup>1)</sup> 吸入(ラット)LD <sub>50</sub> ♂ ♀ 3.696mg/kg <sup>1)</sup>
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	テブチウロン: 軽度の眼刺激性あり(区分 2) 炭酸カルシウム: 区分 2 眼刺激性区分 2 の成分濃度 ≥ 10% より区分 2 とした
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	テブチウロン: モルモットの皮膚に感作性なし(区分に該当しない) その他成分のデータなし (分類できない) 以上のデータより分類できないとした。
生殖細胞変異原性	テブチウロン: チャイニーズハムスター卵細胞を用いた <i>in vitro</i> 細胞染色体異常試験で陽性 <sup>1)</sup> (区分 2) 生殖細胞変異原性区分 2 の成分濃度 ≥ 1% より区分 2 とした。
発がん性	ベントナイトには一般に発がん性の結晶質シリカが 10~30%程度含まれている。 結晶質シリカ(区分 1A) ≥ 0.1% より、区分 1 とした。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	結晶質シリカ(区分 1) ≥ 10% より、区分 1 (呼吸器系)とした。
特定標的臓器毒性	結晶質シリカ(区分 1) ≥ 10% より、区分 1 (呼吸器系)とした。

(反復ばく露)  
 誤えん有害性 データなし (分類できない)

## 12. 環境影響情報

生態毒性	コイ(96hr)LC <sub>50</sub> : 835mg/l (区分に該当しない) ミジンコ(48hr)LC <sub>50</sub> : 396mg/l (区分に該当しない) 藻類(72hr)EC <sub>50</sub> : 2.3mg/l (区分 2) 以上のデータより、水生環境急性有害性区分 2 とした。また水中での挙動が不明な為、水生環境慢性有害性区分 2 とした。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器および包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
--	---

## 14. 輸送上の注意

国連番号	3077
品名(国連輸送名)	環境有害物質(固体) N.O.S.
国連分類	クラス 9
容器等級	III
海洋汚染物質	該当(水生環境慢性有害性区分 2)
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	容器を損傷しないよう取扱いは丁寧にする。輸送中の転落、転倒防止処置をとる。 食品と一緒に保管してはならない。
国内規制情報	海上輸送：船舶安全法に従う。 航空輸送：航空法に従う。
応急措置指針番号	—

## 15. 適用法令

農薬取締法	農林水産省登録 第 16793 号
消防法	非該当
毒物劇物取締法	非該当
化審法	対象外(農薬取締法対象のため)(法第 55 条)
労働安全衛生法	(結晶質シリカ) 名称等を表示すべき危険有害物(法第 57 条、施行令別表第 9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第 57 条の 2、施行令別表第 9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第 57 条の 3)
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
船舶安全法	危規則第 2.3 条危険物告示別表第 1(有害性物質)
港則法	非該当

海洋汚染防止法	海洋汚染物質(法第 38 条 4、則第 30 条の 2 の 3、平成 4 年運輸省告示 323 号)
航空法	施行規則第 194 条危険物告示別表第 1(その他の有害物件)
道路法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR)	2023 年 4 月 1 日以降、第 1 種指定化学物質(テブチウロン)

## 16. その他の情報

引用文献	1)農薬学会誌 17, S35-S38(1992)技術情報「テブチウロンの毒性試験の概要」
記載内容の問い合わせ先	○全般的な窓口 日本カーリット株式会社 化成品部 TEL 03-6685-2046 FAX 03-6685-2050 ○技術的な内容について 日本カーリット株式会社 群馬工場生産技術グループ TEL 0279-23-8896 FAX 0279-23-8480 ○法令・規制等について 日本カーリット株式会社 安全品証部 TEL 0279-23-8812 FAX 0279-23-8642
記載内容の取扱い	この安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253:2019 に従って作成しています。なお、記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。